



顧客の創造に向けて、
サービス・業務品質を磨き込み、
確かな価値を提供します。

アニコム ホールディングス株式会社
代表取締役社長

小 森 伸 昭

2012年度（2013年3月期）決算につきまして

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

2012年度決算につきまして、ご報告いたします。マクロ的な外部環境としては、上期から下期前半にかけて欧州危機や中国との関係悪化など、先行きは不透明な状況でしたが、政権交代以降は株価の全面的な上昇や急激な円安など、変化が大きい1年だったと思います。一方、ミクロ的な外部環境としてペット関連市場を振り返りますと、市場全体の成長や生体の販売頭数などにそれほど大きな変化はなかったと認識しており、マクロ経済環境の変化による影響は限定的な業界であると認識しています。

このような外部環境のなか、当社グループの業績は計画から大きく乖離する要素もなく、ほぼ予想通りの結果となりました。

ここでは当社グループの中核事業であるペット保険事業において取り組みました主要な3つの施策についてご説明いたします。

1つ目は、ペットショップ代理店におけるコンプライアンスの強化です。例えば、代理店での書類管理を再徹底するため、システム改修を実施し、営業担当による確認体制の強化を図りました。こうしたコンプライアンス体制を整えることは金融機関として最優先事項と考えておりますので、これからも徹底的に取り組みたいと考えています。2つ目は、営業部の組織体制刷新です。

ペットショップ代理店を担当する営業部門と動物病院を担当する部門を統合して1つの部署に再編したことで効率的な営業活動が可能となり、その成果が広がりつつあります。第4四半期には有力な代理店も加わり、新規契約の獲得力が強化されています。3つ目は、90%補償商品の引受停止です。2010年10月に顧客還元を高める施策として、90%・70%補償商品の投入や、入院院の使用限度日数撤廃など、補償内容の拡大を実施しました。しかしながら、90%補償商品は適正な保険診療から大きく乖離する使用状況が散見され、全体の損害率を引き上げる要因となったため、2012年8月から新規の引受を停止いたしました。この施策により損害率の上昇は抑えられ、徐々に低下傾向に転じておりますが、今後も引き続き損害率の適正化を図る施策を実施する方針です。

その他の子会社の状況として、アニコム パフェ株式会社では、動物病院内の業務を全て電子化する統合的システムや、動物病院の多店舗展開に合わせて、病院間での情報共有を可能にするネットワーク版の開発など、動物病院のニーズを捉えた製品開発・販売に取り組みました。また、アニコム フロンティア株式会社では、主に動物病院およびペットショップの経営者向けに事業者賠償責任保険をはじめとする各種保険のご提案を促進するなど、保有契約の拡大に努めました。

これら施策の結果、当社グループの連結業績は、保険引受収益

15,781百万円、資産運用収益260百万円などを合計した経常収益が、16,186百万円(前連結会計年度比16.9%増)となりました。一方、保険引受費用11,450百万円(同16.9%増)、営業費及び一般管理費3,632百万円(同7.1%増)等を合計した経常費用は15,348百万円(同13.6%増)となりました。この結果、経常利益は837百万円(同148.3%増)、当期純利益は640百万円(同37.7%増)となりました。

経常収益、経常利益ともに過去最高を更新し、順調に成長を続けております。

涙を減らす保険会社に向けての取り組み

当社グループは、ペットのケガや疾病の予防に努め、涙を減らす保険会社として新たな価値提供が行えるように、さまざまな取り組みを推進しております。その1つとして、年々増加する膨大な保険金請求データや当社グループが独自に実施したサーベイ、どうぶつ医療体制の考察など、家庭どうぶつに関するさまざまなデータを『アニコム家庭どうぶつ白書』として毎年発行しております。白書データは、動物病院において飼い主様へのご説明に活用いただくケースや、当社グループと大学や企業との共同研究の基礎データとして利用するケースが増えており、国内における独自の疫学データとして、予防啓発、学術研究などさまざまなシーンでご活用いただけるようになりました。予防に向けた研究や予防施策の実施のため、今後も引き続き注力し、精緻な分析と情報発信に努めたいと考えております。なお、当社ホームページでもデジタルブック形式の見やすい方法で提供しておりますので、ぜひご覧いただきたいと思っております。

このほかの具体的な予防施策の1つとして、異物誤飲事故を減らすため四半期ごとに『STOP誤飲新聞』の発行をはじめました。異物誤飲の減少には、飼い始めの際の注意喚起が非常に有効であるため、ペットショップで生体を購入される新しい飼い主様へ配布し、異物誤飲事故の減少を図っております。また、ご契約者様向けには、異物誤飲の診療に詳しい獣医師や行動学の専門家をお招きし「家族みんなでSTOP誤飲セミナーin Tokyo」を開催し、予防情報の蓄積を図りました。こうしたご契約者様向けの予防講習会を、今後は全国で展開してまいります。このほか、保険金請求データを分析し

て発生原因を探索し、的確に情報を発信することで事故を予防する取り組みも行ってまいります。例えば、チョコレートの誤飲事故が多いバレンタインデーにターゲットを絞って注意を促すリリースを行ったところ、前年同時期よりも誤飲事故が減少する結果となり、涙を減らすことができました。今後も、気温上昇とともに増加する熱中症や、夏場に多い皮膚病、飼い始めに多い骨折事故など、的確にターゲットを絞り、適時適切に有効な情報を発信することで、予防の成果を幅広く積み重ねてまいりたいと思っております。

予防に関する有効な情報を届けることで事故を減らす。こうした取り組みを続けることで、涙を減らす保険会社としてアニコムの存在感を高めてまいります。

2014年3月期に向けて

今年度に注力して取り組む3つの重点施策を説明いたします。

1つ目は「新規契約の獲得基盤を拡大・強化」です。主力であるペットショップ代理店では、契約獲得力の向上、新規代理店の拡大を図るとともに、コンプライアンス体制を一層強化します。一般代理店チャンネルでは、引き続き銀行・信金との連携を深め、全国展開を推進するとともに、大手企業の職域代理店や生協なども開拓を進めます。2つ目は「さらなる損害率の適正化」です。適切な診療に対して正しく保険金を支払い、早く元気になっていただくことがペット保険の価値であると考えているため、新規契約時のアンダーライティングや、継続時の補償割合引き上げ制限、チャンネル別損害率管理の徹底など、あらゆる施策の実行を推進します。そして3つ目は「ペット保険に続く新事業のスタートに向けた本格的な準備」です。新政権の成長方針にも掲げられている医療分野に対しては、どうぶつ医療の技術発展が後押しできると考えておりますので、当社グループのネットワークと実績を活用し、どうぶつ医療分野における新たな事業を立ち上げる準備を行いたいと考えております。

これらの施策をはじめ、今年度はペット保険事業を確実に成長させながら、可能性のある分野へ積極的に取り組みます。

今後とも、株主のみなさまのご理解とご支援をよろしくお願い申し上げます。

連結財務諸表

連結貸借対照表

(単位：百万円)

科目	当年度末	前年度末
	平成25年3月31日現在	平成24年3月31日現在
資産の部		
現金及び預貯金	4,986	5,098
有価証券	9,272	7,444
有形固定資産	86	93
無形固定資産	373	387
その他資産	1,940	1,981
繰延税金資産	219	353
貸倒引当金	△ 7	△ 5
資産の部合計	16,872	15,355
負債の部		
保険契約準備金	7,702	7,152
その他負債	1,292	1,073
賞与引当金	69	55
特別法上の準備金	2	0
負債の部合計	9,067	8,283
純資産の部		
資本金	4,238	4,194
資本剰余金	4,128	4,084
利益剰余金	△ 571	△ 1,211
自己株式	△ 0	△ 0
株主資本合計	7,795	7,067
その他の包括利益累計額	9	3
その他有価証券評価差額金	9	3
純資産の部合計	7,805	7,071
負債及び純資産の部合計	16,872	15,355

連結損益計算書

(単位：百万円)

科目	当年度	前年度
	平成24年4月1日から平成25年3月31日まで	平成23年4月1日から平成24年3月31日まで
経常収益	16,186	13,845
経常費用	15,348	13,508
経常利益	837	337
特別利益	—	1
特別損失	2	7
税金等調整前当期純利益	835	331
法人税及び住民税等	64	23
法人税等調整額	130	△ 157
法人税等合計	194	△ 133
少数株主損益調整前当期純利益	640	465
当期純利益	640	465

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科目	当年度	前年度
	平成24年4月1日から平成25年3月31日まで	平成23年4月1日から平成24年3月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,507	1,879
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,852	△ 1,044
財務活動によるキャッシュ・フロー	85	28
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△ 260	864
現金及び現金同等物の期首残高	1,543	679
現金及び現金同等物の期末残高	1,283	1,543

連結株主資本等変動計算書

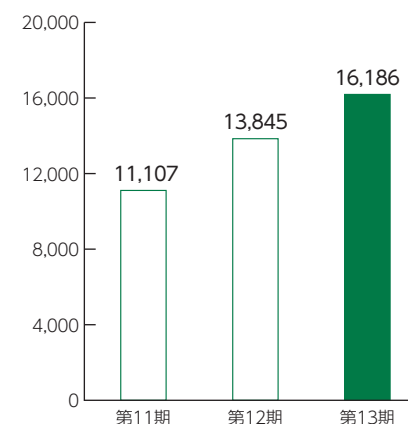
(当年度 平成24年4月1日から平成25年3月31日まで)

(単位：百万円)

	株主資本					その他の包括利益累計額		純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	その他の包括利益累計額合計	
平成24年4月1日残高	4,194	4,084	△ 1,211	△ 0	7,067	3	3	7,071
連結会計年度中の変動額								
新株の発行	43	43			87			87
当期純利益			640		640			640
株主資本以外の項目の連結会計年度中の変動額(純額)						5	5	5
連結会計年度中の変動額合計	43	43	640	—	728	5	5	734
平成25年3月31日残高	4,238	4,128	△ 571	△ 0	7,795	9	9	7,805

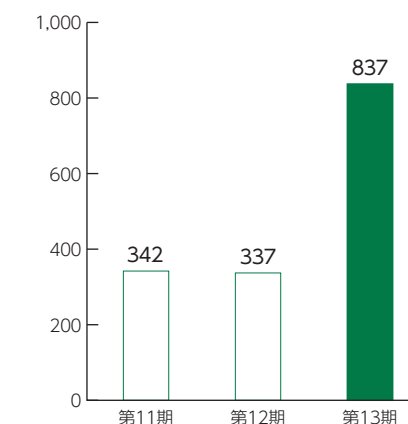
経常収益

(単位：百万円)



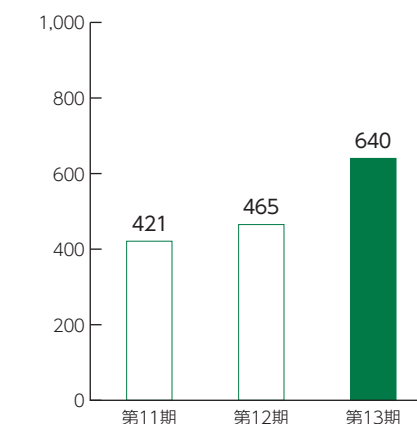
経常利益

(単位：百万円)



当期純利益

(単位：百万円)



『家庭どうぶつ白書2012』の発刊



当社は、2012年11月19日に『家庭どうぶつ白書2012』を発刊いたしました。主に、アニコム損保における保険金支払データを分析した疾患統計や、ご契約者からいただいたアンケート調査の結果、どうぶつ医療体制に関する考察など、家庭どうぶつに関わる多様なデータ・情報を集約しています。2012年度版における新しい取り組みとしては、犬・猫の寿命や、賠償責任特約の支払い状況を基にした事故分析、他犬種と比較した際の各犬種における疾病別リスク、都道府県別の疾患罹患率などを新規に掲載しています。これらのデータは、国内において独自の疫学データとして、予防啓発、学術研究などさまざまなシーンでご活用いただけるようになりました。なお、当社ホームページ (<http://www.anicom-page.com/hakusho/book/>) においても、デジタルブック形式の見やすい方法で提供しておりますので、ぜひご覧いただきたいと思っております。今後も、家庭どうぶつを取り巻く環境の改善、そして疾病・事故の予防に向けて、精緻な分析と情報発信を進めてまいります。

「家族みんなでSTOP誤飲セミナー」の開催



当社グループは、涙を減らし笑顔を生み出す保険会社グループとして、どうぶつが本来食べるべきではない“もの”を誤って飲み込んでしまう誤飲事故を予防する「STOP誤飲プロジェクト」を推進しています。当年度はこの活動の一環として、ご契約者を対象とした「家族みんなでSTOP誤飲セミナー」を、東京および横浜にて開催いたしました。誤飲事故の診療に詳しい獣医師や動物行動学の専門家にもご登壇いただき、知っておきたい誤飲事故の現況、誤飲事故を防ぐ暮らし方など、幅広い予防知識の提供を行っております。また、「STOP誤飲新聞」を季刊で発行し、当社グループのホームページやペットショップを通じて、誤飲事故の防止に有効な情報の提供を行っています。引き続き、当プロジェクトを推進するとともに、賠償責任事故や骨折、熱中症や皮膚病等に活動範囲を広げ、事故・疾病の予防に資する活動を展開してまいります。

アニコムレセプターの“完全電子化対応版”をリリース

アニコム パフェ株式会社は、同社が開発・販売する動物病院向けレセプトシステム「アニコムレセプター」を機能拡張し、動物病院内における業務の全てを電子化する“完全電子化対応版”をリリースしました。これにより、紙カルテの保管が必要なくなり、過去の診療データや経営分析、顧客情報の一元管理が簡便になります。業務ミスの削減が図れるなど、業務効率の向上にもつながります。また、近年増加しつつある動物病院の多店舗展開に合わせて、病院間での情報共有を可能にする“ネットワーク連携対応版”の試験提供を始めました。多様化する動物病院のニーズに合わせて、使い勝手の良いシステムを提供することで、動物病院経営の支援と連携の強化を図ってまいります。



ペットに関するポータルサイト“みんなの「どうぶつ親子手帳」”をスタート



アニコムグループ各社が提供する情報・サービスを、ワンストップで飼い主様に提供するグループ・ポータルサイトとして“みんなの「どうぶつ親子手帳」”をスタートいたしました。主なコンテンツとしては、「みんなの闘病日記」「みんなのアンケート」「どうぶつ相談室（ペットのケガや病気、しつけに関する情報の提供）」「動物病院の検索サービス」「優良ペット霊園の検索サービス」「家庭どうぶつ白書」など、ご好評いただいている情報やサービスを集約しています。中核コンテンツとなる「みんなの闘病日記」では、ケガや疾病、品種ごとに、闘病日記の検索が可能となっており、初めて疾病に気付いた時の状態や、他の飼い主がどのような診療を行ったのか、また、予防・再発防止に向けて取り組んでいることなどを、飼い主みんなで共有できるようになりました。こうしたSNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）を提供することで、飼い主様の貴重な情報を共有し、早期発見・早期治療、再発の防止に役立ててまいります。

子ども参観日の開催



当社グループは、役職員の約6割が女性であることから、ワーク・ライフ・バランスを積極的に推進しています。取り組みの一環として、夏休みに合わせて“子ども参観日”を開催いたしました。参加した役職員の子どもたちは、名刺交換の練習や保険証券（どうぶつ健康保険証）の発行作業を体験することで、お父さん、お母さんが職場でどのような仕事をしているのかを理解するとともに、働くことの意味や保険会社の社会的役割を子どもたちに伝えることができました。また、「お母さんの仕事は、みんなの役に立っていることがわかった」「保険の役割を理解できた」など、子どもたちから多くの感想が寄せられ、家族のきずなを深める機会となりました。今後も、子育て支援、働く女性にやさしい制度など、女性がいいきいきと働く職場作りを推進してまいります。

当社ホームページでは、株主投資家のみならずみなさまに向けた企業情報・財務情報をはじめ、当社グループのCSR活動や経営パラメーター、広報・IRブログなどをご覧いただけます。当社グループをさらにご理解いただくためのツールとしてぜひご活用ください。



IR情報では、財務ハイライトやIRライブラリ等をご紹介します。また、「IR情報」トップページには半期毎に社長インタビューを掲載し、株主・投資家のみならず「わかりやすいIR情報」をお伝えしてまいります。
<http://www.anicom.co.jp/>

株主のみなさまの声をお聞かせください

当社では、株主のみなさまの声をお聞かせいただくため、アンケートを実施いたします。お手数ではございますが、アンケートへのご協力をお願いいたします。

下記URLにアクセスいただき、アクセスコード入力後に表示されるアンケートサイトにてご回答ください。所要時間は5分程度です。

<http://www.e-kabunushi.com>
アクセスコード 8715

いいかぶ

空メールによりURL自動返信
kabu@wjim.jpへ空メールを送信してください。(タイトル、本文は無記入) アンケート回答用のURLが直ちに自動返信されます。

●アンケート実施期間は、本書がお手元に到着してから約2ヶ月間です。

※本アンケートは、株式会社 a2media(イー・ツー・メディア)の提供する「e-株主リサーチ」サービスにより実施いたします。(株式会社 a2media) についての詳細 <http://www.a2media.co.jp/> ※ご回答内容は統計資料としてのみ使用させていただきます。事前の承諾なしにこれ以外の目的に使用することはありません。

●アンケートのお問い合わせ TEL:03-5777-3900(平日 10:00~17:30) MAIL:info@e-kabunushi.com
「e-株主リサーチ事務局」

株式の状況／会社概要

株式および株主の状況 (2013年3月31日現在)

発行可能株式総数	48,000,000株
発行済株式の総数	17,168,800株
当期末の株主数	2,040名

大株主の状況

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,739	10.1
日本フастイサービス信託銀行株式会社(信託口)	1,561	9.1
KOMORIAセットマネジメント株式会社	1,220	7.1
ソニー損害保険株式会社	1,200	7.0
野村信託銀行株式会社(投信口)	813	4.7
ジャフコV1-B号投資事業有限責任組合 無限責任組合員 株式会社ジャフコ	764	4.5
C B C 株 式 会 社	666	3.9
小 森 伸 昭	537	3.1
アニコム ホールディングス取引先持株会	489	2.8
ジャフコV1-A号投資事業有限責任組合 無限責任組合員 株式会社ジャフコ	458	2.7

(注) 持株比率は、自己株式(610株)を控除して計算しております。

会社概要 (2013年3月31日現在)

社 名	アニコム ホールディングス株式会社
設 立	2000年7月5日
資 本 金	4,238百万円
本 社	〒161-0033 東京都新宿区下落合一丁目5番22号

役員の状況 (2013年6月26日現在)

代表取締役社長	小 森 伸 昭
常務取締役	百 瀬 由 美 子
取 締 役	須 田 一 夫
取締役(社外)	小 林 英 三
取締役(社外)	中 出 哲
常勤監査役(社外)	猪 俣 吉 彦
監 査 役(社外)	岩 本 康 一 郎
監 査 役	藤 田 信 一 郎
監 査 役(社外)	岡 部 紳 一

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月開催
株主名簿管理人および 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同 連 絡 先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 TEL 0120-232-711 (通話料無料)

公 告 方 法	電子公告にて行う 公告掲載URL http://www.anicom.co.jp/ ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。
---------	---